

1年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	<p>あさ</p> <p>2時間（話・聞②）</p> <p>◎教師の問いかけに対して、絵を見て見つけたこと、想像したことを話すことができる。（話・聞(1)ア）</p> <p>■絵を見て話す。</p> <p>■応答する。</p> <p>☆校庭探検（生活科）</p>	<p>1</p> <p>）</p> <p>2</p>	<p>1 教師に合わせて「あさ」の詩を声に出して言う。</p> <p>2 P0-3の挿絵を見て、気づいたことや見つけたものを話す。</p> <p>3 P4-8の絵を見て、気づいたことや想像したことを言ったり、絵の中の人物になりきって話したりする。</p> <p>・児童どうしで、教科書の場面と同じように、手をつないだりまるくなったりする動作化もできる。</p>	<p>【関】 教師の指示を聞いて楽しく活動し、絵を見て思ったことを話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の問いかけを聞き、ふさわしい話をしている。 ・絵を見て教師や友達に話すことを見つけている。
4月	<p>さあ はじめよう</p>			
	<p>なんて いおうかな</p> <p>2時間（話・聞②）</p> <p>◎相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。（話・聞(1)イ）</p> <p>○互いの話を集中して聞き、話題に沿ってやり取りをすることができる。（話・聞(1)オ）</p> <p>■場面に合わせてやり取りをする。</p> <p>☆挨拶や言葉遣いなどを心掛けて、他人と接する心を育てる題材（道徳）</p>	<p>1</p> <p>）</p> <p>2</p>	<p>1 P10-11の絵を見て、何を、どんな話をしている場面なのかを出し合う。</p> <p>2 それぞれの場面に合った言葉や動作を考え、友達とやり取りをしたり、クラスの前で発表したりする。</p> <p>・学習場面や教師に対する言葉遣いと友達どうしの言葉遣いとの違いに気づく。</p>	<p>【関】 体験を生かしながら、場面に応じた言葉遣いを考えて話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じて、丁寧な言葉と普通の言葉を使い分けて、話したり挨拶をしたりしている。 ・話し手の方を見ながら互いの話を集中して聞き、それぞれの場面の話題に沿って適切な言葉を考えてやり取りをしている。
	<p>どんな おはなしか</p> <p>2時間（読②）</p> <p>◎本や作品の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しく聞くことができる。（読(1)ウ）</p> <p>■読み聞かせを聞いて楽しむ。</p> <p>☆読み聞かせ（図書館活用）</p>	<p>1</p> <p>）</p> <p>2</p>	<p>1 教科書の絵を見て、読み聞かせをもらった体験を想起し、自分の好きな本や作品を発表する。</p> <p>2 教師が選んだ本の読み聞かせを聞き、感想を言い合う。</p> <p>3 教科書に載っている本や好きな本・作品を選んで教師に読んでもらう。</p> <p>4 教師が読んだ本や作品の内容（登場人物や出来事等）について話す。</p>	<p>【関】 知っている本や作品について話そうとしている。</p> <p>【読】 教師の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しんで聞いている。</p>
	<p>どうぞ よろしく</p> <p>3時間（話・聞①、書②）</p> <p>◎友達に知ってもらいたいことを考え、互いに自己紹介をすることができる。（話・聞(1)ア・イ・オ）</p> <p>○相手によく分かるように、自分の名前などを丁寧に書くことができる。（書(1)ウ・オ、伝国(1)ウ(ア)）</p> <p>■自己紹介をしたり、それを聞いたりする。</p> <p>■紹介したいことをカードに書く。</p> <p>☆自己紹介や対話を通して、お互いのことを知り、伝え合う姿勢を育てる題材（生活科）</p>	<p>1</p> <p>）</p> <p>2</p> <p>）</p> <p>3</p>	<p>1 友達をたくさん作るために、自己紹介し合うことを知る。</p> <p>2 「い・ち・ね・ん」と組や自分の名前を平仮名で書く。</p> <p>・P14-15を参考に、姿勢や鉛筆の持ち方に気をつける。</p> <p>・知らない文字は教師に聞く。</p> <p>3 名前カードを作る。</p> <p>・画用紙に自分の名前を書く。好きなものの絵を描いたり、色を塗ったりしてもよい。</p> <p>4 名前カードをクラスの友達と交換する。</p> <p>・挨拶し、名前と好きなものを言って握手する。</p> <p>・できるだけたくさんの友達と交換する。</p>	<p>【関】 平仮名を丁寧に書こうとしている。</p> <p>【話・聞】 名前カードを交換する際、友達と言葉のやり取りをしている。</p> <p>【書】 語のまとまりを意識して書き、カードを交換して読み合っている。</p> <p>【言】 「い・ち・ね・ん」と、自分の名前を平仮名で書いている。</p>
	<p>こえのおおきさ、どうするの</p> <p>1時間（話・聞①）</p> <p>◎場面に合わせた声の大きさを話することができる。（話・聞(1)ウ）</p> <p>■いろいろな場面で相手に伝える声の大きさを話す。</p>	<p>1</p>	<p>1 教科書の絵を見て、四つの場面ごとにどんな声の大きさを話しているかを考える。</p> <p>・場面ごとに、実際に声を出してみる。</p> <p>2 場面や状況に応じた声の大きさについてまとめる。</p>	<p>【関】 場面に合う大きさの声を出そうとしている。</p> <p>【話・聞】 場面に応じて適切な声の大きさを考えて話している。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	うたに あわせて あいうえお 2時間(読②) ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(読(1)ア) ○「あ・い・う・え・お」の文字を正しい筆順で書くことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ■想像を広げながら楽しんで読む。 ☆歌を通して正しい発声を身につける題材(音楽)	1	1 教材文を繰り返し読む。 ・口の開け方, 声の大きさ, リズム, テンポなどに気をつける。 ・体を動かしたり, 手足でリズムをとったりする。 ・音声CDを聞いて「うたに あわせて あいうえお」の歌を歌う。	【関】 楽しくリズムをとり, 声に出して読もうとしている。 【読】 ・言葉のまとまりで区切って, はっきりした発音で読んでいる。 ・姿勢・口形に気をつけて「あ・い・う・え・お」を発音している。
	ことばを つくろう 2時間(書②) ◎音節と文字の関係に気づくことができる。(伝国(1)イ(イ)) ・既習の平仮名を使って単語を書くことができる。(書(1)ウ) ■文字を並べて, 言葉を作る。	1	1 「あ」「い」「う」「え」「お」で始まる言葉を集めて, 「あいうえお」に親しむ。 ・2文字の語, 3文字の語を読んだり, 考えたりして, 1音節1文字であることに気づく。	【関】 1音1文字であることを意識しながら, 既習の平仮名を使った言葉を進んで見つけようとしている。
5月	えを みて はなそう 2時間(話・聞②) ◎絵を見ながら型に合わせて尋ねたり, 質問に答えたりすることができる。(話・聞(1)オ) ・主語と述語の関係に注意することができる。(伝国(1)イ(カ)) ■尋ねたり, 応答したりする。	2	2 これまでに習った文字を使って言葉を作り, ノートに書く。	【書】 P24・25に提示された文字や自分で考えた単語を正しく書いている。 【言】 1音1文字であることを理解している。
		1	1 教科書の絵を見て, どんな動物がどこにいるかを尋ねたり, 答えたりする。 2 二人組で, 教科書の話型を参考にして問答をする。 ・答えの後に, 尋ねた側はうなずいたり呼応した言葉を発したりして応じる。 2 二人で交代したり, 相手を変えたりして問答をする。	【関】 絵を見て分かることを話そうとしたり, 問答を楽しもうとしたりしている。 【話・聞】 ・提示された「問い」「答え」の話型で話している。 ・質問→答え→答えに応じる, というやり取りをしている。 【言】 主語と述語の関係に注意してやり取りしている。
5月	かきと かぎ 2時間(書②) ◎平仮名で濁音を含む単語を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)ウ(ア))	1	1 P28の唱え歌を, いろいろな言い方で楽しく読み, 濁音に気づく。	【関】 濁音を含む単語を書こうとしている。 【書】 濁音を含む唱え歌を考えて書いている。
5月	あさの おひさま 1時間(読①) ◎リズムや繰り返しを意識しながら音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)ウ(ア)) ○朝日や海の様子を想像しながら読むことができる。(読(1)ウ) ■詩を楽しんだり, 想像を広げたりして読む。	2	2 P29にある単語を, 一語一語唱えながら濁点の有無を確認する。 ・清音と濁音の平仮名をノートに書く。 3 濁音を含む短い唱え歌を考えて書く。	【言】 濁音がつく文字の音と表記を理解し, 提示された平仮名を書いている。
		1	1 詩を声に出して読む。 ・声の大きさやリズムを工夫してはっきりと読む。 2 想像したことを話す。 3 行頭の音やリズムに気をつけながら, 暗唱する。	【関】 音の響きに気をつけて楽しく音読しようとしている。 【読】 場面の様子を想像しながら, 言葉のまとまりで区切って, はっきりと声に出して読んでいる。 【言】 平仮名をすらすら読んでいる。
5月	はなの みち 6時間(読⑥) ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(読(1)ア) ○文章や挿絵を見ながら, 場面の様子について, 想像を広げて読むことができる。(読(1)ウ) ○敬体で書かれた文章になじむことができる。(伝国(1)イ(キ)) ■想像を広げながら物語を楽しむ	1	1 動物が主人公のお話を read 経験を出し合う。 2 教科書の挿絵を手がかりに, 場所や季節, 登場人物のイメージを膨らませる。 ・登場人物を確かめる。 3 教師の範読を聞き, 大体的内容をつかむ。 4 教師の後について, 全文を音読する。 5 お話の内容を確かめる。 ・4枚の挿絵と本文の対応関係を確認する。 ・P34とP38の挿絵を比べ, 野原や動物の様子の違いに気づく。 6 好きな挿絵の場面を音読する。 ・二人組で聞き合い, 感想を伝える。 7 みんなの前で自分の好きな挿絵(場面)のところ	【関】 登場人物の行動や時間・季節の移り変わりについて気づいたことを話し, 文章と挿絵の関わりを考えようとしている。 【読】 ・言葉のまとまりで区切ってはっきりと声に出して読んでいる。 ・自分の好きな場面を選び, 想像を広げて音読している。 ・2枚の挿絵の違いから話の大体的流れを捉えている。 【言】 敬体で書かれた文章の内容を理解している。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>んで読む。</p> <p>☆自然を愛する心を育てる題材(道徳)</p>		<p>を音読する。</p> <p>8 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の場面を比べたことや好きな場面を音読したことを確かめる。 	
5月	<p>ぶんをつくろう</p> <p>4時間(書④)</p> <p>◎主語と述語の関係に注意して「――が――。」という文型の文を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(オ)・(カ))</p>	1 2 3 4	<p>1 例文「きつねがはしる。」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語や述語に注意し、「<input type="text"/>が<input type="text"/>.」の文型であることに気づく。 <p>2 P40の<input type="text"/>に入る述語を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵から、主語にあたる動物の行動を発見する。 ・考えた述語を書き入れて、声に出して読む。 ・ノートに句点を確かめて、丁寧に書く。 <p>3 ノートに「ひまわりがさく。」と書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の終わりには、句点を打つことを確かめる。 <p>4 P41の挿絵を見て、「<input type="text"/>が<input type="text"/>.」の文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の関係、句点の位置に気をつける。 <p>5 自分の身の回りの中から「<input type="text"/>が<input type="text"/>.」のもの・ことを見つけ、文を書いて発表する。</p>	<p>【関】 絵や日常の生活の中から「――が――。」の文になることを見つけて書こうとしている。</p> <p>【書】 「――が――。」の文を書いている。</p> <p>【言】 主語と述語の関係に注意して、句点を正しく使って文を書いている。</p>
5月	<p>ねことねっこ</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎促音や半濁音のある言葉を見つけて、正しく書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(エ))</p>	1 2	<p>1 P42の唱え歌をいろいろな言い方で楽しく読み、促音に気づく。</p> <p>2 P43を見て、一語一語唱えながら促音の読み方を確認する。</p> <p>3 P43を見て、促音のある言葉を平仮名で書き、促音のある言葉を集める。</p> <p>2 4 P43の言葉の中の清音・濁音・半濁音を、書き順や濁点、半濁点の位置に気をつけて書く。</p>	<p>【関】 促音や半濁音のある言葉を集めようとしている。</p> <p>【書】 促音や半濁音のある言葉を正しく書いている。</p> <p>【言】 促音、半濁音の表記を理解し、正しく書いている。</p>
5月 6月	<p>わけをはなそう</p> <p>2時間(話・聞②)</p> <p>◎気持ちを話した後に、そのわけを話すことができる。(話・聞(1)イ)</p> <p>○自分の経験などをもとに、話題に沿って話すことができる。(話・聞(1)ア)</p> <p>○言葉には経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア))</p> <p>■感じ方とそのわけを話す。</p> <p>☆わけを説明する。(生活科・算数)</p>	1 2	<p>1 P44の挿絵を見て、顔の表情と出来事から女の子の気持ちやそのわけを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔の表情から、どんな気持ちかを考え、「わたしは<input type="text"/>.」に気持ちを表す言葉を入れる。 ・「どうしてか」といって、<input type="text"/>.には、挿絵を参考に、理由となる出来事を入れる。 <p>2 P45も、挿絵を見てP44と同じように二人組で交流する。</p> <p>2 3 自分の経験したことを、学んだ話型を使って話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人組で交流したあと、グループや全体で発表する。 	<p>【関】 気持ちとそのわけについて、進んで話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て想像したことや自分の経験をもとにして、話すことを決めている。 ・気持ちを先に話し、その後にわけを話している。 <p>【言】 言葉には、経験や気持ちを伝える働きがあることに気づいている。</p>
6月	<p>おばさんとおばあさん</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎長音のある言葉を集め、読み書きできるとともに、助詞「を」を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)イ(エ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語と語の続き方に注意しながら文を書くことができる。(書(1)ウ) 	1 2	<p>1 P46の唱え歌をリズムに気をつけて読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長音になることで言葉の意味が変わるものがあることに気づく。 <p>2 P47の長音のある言葉を読み、書く練習をする。</p> <p>2 3 長音のある言葉を集めて友達と交流する。</p> <p>4 長音のある言葉を使って文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<input type="text"/>を<input type="text"/>.」という助詞「を」を使った文にする。 	<p>【関】 長音のある言葉を集め、正しく書こうとしている。</p> <p>【書】 語と語の続き方に気をつけて、「――を――する。」という文を書いている。</p> <p>【言】 長音の表記と助詞「を」の用法を理解し、正しく文の中で使っている。</p>
6月	<p>くちばし</p> <p>8時間(読⑥, 書②)</p> <p>◎説明の順序や内容を考えながら読むことができる。(読(1)イ, 伝国(1)イ(キ))</p> <p>○文章の内容と、自分の経験や知識とを結び付けることができる。(読(1)オ)</p>	1 2 6	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「えをみてはなそう」で、問いに対して説明したことを思い出す。 ・鳥やくちばしについて、知っていることを出し合い、興味をもつ。 <p>2 2 P48の文と挿絵を見て、どんな鳥のくちばしかを予想する。</p> <p>3 3 全文を読み、内容の大体を捉える。</p>	<p>【関】 文章の内容や、「問い」と「答え」という形式に興味をもって読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんの――でしょう。」という問いと、それに対する答えを捉えている。 ・自分の経験や知識を生かして説明内容を正しく捉えている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>・語と語の関係に注意して、助詞「は」を正しく用いながら、文を書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(エ))</p> <p>■生き物について説明している文章を読む。</p> <p>☆生き物の観察をする。(生活科)</p> <p>☆関連読書(図書館活用)</p>	7 8	<p>・自分の予想と比べながら、教師の範読を聞く。</p> <p>・本文と写真を対応させながら、3種類の鳥のくちばしを取り上げられていることを確かめる。</p> <p>・それぞれのくちばしについて、「問い」と「答え」を確認し、「答え」のあとに詳しく説明している部分があることを確かめる。</p> <p>4 教材文の中から「これは、——です。」という文を見つけ、ノートに書き写す。</p> <p>・「答え」にあたる部分であることに気づく。</p> <p>・P55を参考に、助詞「は」を適切に使う。</p> <p>5 自分のよく知っている動物について、「問い」と「答え」で説明する。</p> <p>・生活科で扱った生き物に目を向けたり、生き物の本や図鑑を見たりする。</p> <p>・「これは、なんの——でしょう。」「これは、——の——です。」という文を書く。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・「問い」と「答え」という文章形式だったことを確かめる。</p>	<p>【書】呼応関係に注意して、問いと答えの文を書いている。</p> <p>【言】敬体の文章に慣れるとともに、助詞「は」を文の中で正しく使っている。</p>
6月	<p>おもちゃと おもちゃ</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎拗音のある言葉を集め、読み書きできるとともに、助詞「へ」を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)イ(エ))</p> <p>・語と語の続き方に注意しながら文を書くことができる。(書(1)ウ)</p>	1 2	<p>1 P56の唱え歌をリズムに気をつけて読み、「おもちゃ」と「おもちゃ」の言葉の違いに気づく。</p> <p>2 P57の拗音のある言葉を読み、書く練習をする。</p> <p>3 拗音のある言葉を集めて友達と交流する。</p> <p>4 拗音のある言葉を使って文を書く。</p> <p>・「<input type="text"/>へ<input type="text"/>。」という助詞「へ」を使った文にする。</p>	<p>【関】拗音のある言葉を集め、正しく書こうとしている。</p> <p>【書】語と語の続き方に気をつけて、「——へ——。」という文を書いている。</p> <p>【言】拗音の表記と助詞「へ」の用法を理解し、文の中で正しく使っている。</p>
6月	<p>おもいでして はなそう</p> <p>3時間(話・聞③)</p> <p>◎自分の体験を思い出し、姿勢や話し方に注意して順序立てて話すことができる。(話・聞(1)ア・イ・ウ)</p> <p>○友達の話に興味をもって聞くことができる。(話・聞(1)エ)</p> <p>・言葉には、経験を伝える働きがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア))</p> <p>■経験を報告したり、それを聞いたりする。</p> <p>☆楽しかったことを伝える。(生活科)</p>	1 2 3	<p>1 最近の出来事を思い出す。</p> <p>・教科書の挿絵を参考にしたり、友達と話し合ったりする。</p> <p>・「いつ・どこで・誰と・何を・どうした」という観点から、出来事を詳しく思い出す。</p> <p>2 グループで互いの体験を発表する。</p> <p>・発表する人は、声の大きさや速さに気をつける。</p> <p>・聞いている人は感想を話したり、質問をしたりする。</p>	<p>【関】体験を思い出して話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <p>・自分の体験を詳しく思い出し、それをもとに話を組み立てている。</p> <p>・話す声の大きさや速さ、姿勢や口形に気をつけて話している。</p> <p>・話し手の方を向いて、興味をもって聞いている。</p> <p>【言】言葉で体験を伝えることができることに気づいている。</p>
6月	<p>あいうえおで あそぼう</p> <p>3時間(読①、話・聞④、伝国①)</p> <p>◎はっきりした発音や口形に気をつけて声を出すことができる。(話・聞(1)ウ)</p> <p>○遊び歌の語のまとまりや内容、言葉のおもしろさを楽しみながら声に出して読むことができる。(読(1)ア、伝国(1)ウ(ア))</p> <p>・音節と文字との関係に気づくことができる。(伝国(1)イ</p>	1 2 3	<p>1 P60-61の詩を読む。</p> <p>・調子のよい言葉のリズムに気づき、節をつけて歌うように読む。</p> <p>・何度も読んで詩の仕組みに気づく。</p> <p>2 自分たちの「あいうえおで あそぼう」を作る。</p> <p>・行ごとに二人一組で作る。</p> <p>・吹き出しやP129のひらがな表を参考に作る。</p> <p>3 作った詩を発表し、それを教師が整理して書き出し、クラスの詩にする。</p> <p>・声の大きさ、速さに気をつけてみんなで読む。</p> <p>4 P62-63の五十音図を読む。</p> <p>・縦や横に読み、区切ったり伸ばしたりひそひそ声で唱えたりする。</p>	<p>【関】言葉のつながりのおもしろさに気づき、楽しんで読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【話・聞】はっきりした発音と口形を意識して声を出している。</p> <p>【読】言葉のまとまり、リズム、繰り返などを楽しんで音読している。</p> <p>【言】</p> <p>・拍と表記の関係に気づいている。</p> <p>・平仮名の清音の大体を、母音を意識して正しく読んでいる。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	(イ)		<ul style="list-style-type: none"> 各行や各列の音の特徴に気づく。 5 五十音図から言葉を見つけて発表する。 	
6月	<p>おおきく なった 4時間(書④)</p> <p>◎書こうとする題材に必要な事柄を、対象を観察して集めることができる。(書(1)ア)</p> <p>○語と語の続き方に注意し、句読点を使ってつながりのある文を書くことができる。(書(1)ウ)</p> <p>・観察したことを、的確な観点で表すことができる。(伝国(1)イ(ア))</p> <p>■観察したことを記録する文章を書く。</p> <p>☆植物を観察する。(生活科)</p>	1 2 3 4	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科で育てている植物の様子を想起し、「よくみて、くわしくかこう」という学習課題を確認する。 <p>2 どんな観点で植物を観察したいかを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書にない観点を見つけたら発表し、クラス全体で共有する。 <p>3 観察記録の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> P65の二つの作例を読み、書かれている観点と書き方の共通点・相違点を見つめる。 <p>4 観察記録を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科で育てている植物を観察し、気づいたことをメモしたり、絵を描いたりする。 観察して気づいたことを文にする。 必要に応じて、P124で横書きの書き方を確認しておく。 <p>5 書いたものを友達と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察の観点や書き方について助言し合う。 教室に掲示し、みんなで相互評価をしてもよい。 <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな観点から観察することで、様子を詳しく記録できることを確かめる。 	<p>【関】観点を立てて、対象を丁寧に観察し、適切な言葉で記録しようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の観点を参考にしながら、丁寧に観察して、書く材料を集めている。 教科書の二つの作例の書き方の違いに気づき、どちらかを選んで同じような形式で書いている。 <p>【言】観察したことを記録するための観点について理解している。</p>
6月	<p>おむすび ころりん 5時間(読⑤)</p> <p>◎語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら声に出して読むことができる。(読(1)ア)</p> <p>○場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ)</p> <p>・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))</p> <p>■昔話を想像を広げながら楽しんで読む。</p> <p>☆我が国の文化や生活に親しみ、愛着をもたせる題材(道徳)</p>	1 4 5	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに読んだ昔話について、おもしろかったところを発表する。 「はなの みち」で音読したことを思い出し、「おんどくをはっぴょうしあおう」という学習課題を確認する。 <p>2 全文について教師の範読や朗読CDを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容や文章の調子について感想をもつ。 繰り返しのある構造であることを理解する。 <p>3 グループで音読を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割を決め、場面の様子を想像しながら役になりきって読む。 グループで読み方の工夫を話し合い、練習する。 <p>4 音読を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いてくれた人から感想をもらう。 <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しやリズムを楽しみながら音読したことを確かめる。 	<p>【関】役割を決めて楽しんで音読しようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しや七五調のリズムなどを楽しんで音読している。 場所、人物、出来事に注意して読んでいる。 <p>【言】様子を表す語句、動きを表す語句、気持ちを表す語句があることに気づいている。</p>
6月 7月	<p>たからものを おしえよう 4時間(話・聞④)</p> <p>◎自分の大切なものについて、姿勢や話し方に注意して、順序立てて友達に話すことができる。(話・聞(1)ア・イ・ウ)</p> <p>○相手が伝えたいことを落とさないように聞くことができる。(話・聞(1)エ)</p> <p>・事物の内容や自分の経験を伝える言葉の働きを理解することができる。(伝国(1)イ(ア))</p> <p>■事物の説明をし、それを聞いて質問したり、感想を述べたりする。</p>	1 2 3 4	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師自身の「たからもの」についての説明を聞き、それに対して質問をする。 説明や質問のしかたを整理する。 <p>2 「たからものをみんなにおしえよう」という学習課題を確認する。</p> <p>3 「たからもの」について、二人組で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切にしている物を書き出す。 いちばん教えたいことを話す。 互いに質問し合い、説明する事柄を増やす。 「たからもの」について、説明する事柄と順序を決める。 <p>4 グループで「たからもの」の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞く人は、質問をしたり、感想を述べたりする。 <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>【関】説明の方法を知り、「たからもの」を友達に教えようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明のために必要な事柄を集め、順序立てて説明している。 二人組で相談するとき、グループで発表するとき、それぞれに適した声の大きさや言葉遣いで話している。 相手が伝えようとしていることを、興味をもって聞いている。 <p>【言】言葉には、事物の内容や自分の経験を伝える働きがあることに気づいている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	☆好きな物を伝える。(生活科)		・質問し合うことで、説明する事柄を広げられたことを確かめる。	
7月	はをへを つかおう 3時間(書③) ◎語と語をつなぐ助詞「は・を・へ」を正しく使って文を書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(エ))	1 2 3	1 P76の唱え歌を、リズムに気をつけて読む。 ・教師の範読を聞いてから音読する。 ・「は」「を」「へ」の読み方に注意する。 2 唱え歌を視写する。 ・「わ」と「は」、「お」と「を」、「え」と「へ」の使い方を理解する。 3 P77の文型に合わせて文を作り、発表し合う。	【関】「は・を・へ」の使い方に注意しようとしている。 【書】語と語の関係を把握し、助詞「は・を・へ」を正しく使って文を書いている。 【言】助詞「は・を・へ」を文の中で正しく使っている。
7月	すきな こと、なあと 4時間(書④) ◎「好きなこと」と「その理由」を文と文との続き方に注意しながら二文で書くことができる。(書(1)ア・ウ) ○書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。(書(1)オ) ・主語と述語の関係や句読点に気をつけて書くことができる。(伝国(1)イ(オ)・(カ)) ■紹介したいことを文章に書く。	1 2 3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・教科書を見て、「すきなことをかいて、ともだちにしょうかいしよう」という学習課題を確認する。 2好きなことをカードに書いて友達に紹介する。 ・聞いた人は、感想を言ったり、理由を質問したりする。 ・理由が分かると、好きなことが相手によく伝わることに気づく。 3自分の好きなこととその理由を書く。 ・P79の作例を参考にして二文で書く。 ・主語と述語の関係や句読点に注意する。 4書いた文章を友達と読み合って感想を交流する。 ・カードに一言感想を書いて交流してもよい。	【関】好きなことを書いて知らせることに興味をもち、進んで書こうとしている。 【書】 ・教科書の例文に準じて、理由が分かるように書いている。 ・書いたものを友達と読み合い、内容について感想を伝えている。 【言】主語と述語の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。
7月	おおきな かぶ 6時間(読⑥) ◎繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして、音読をすることができる。(読(1)ア) ○場面の様子や増えていく登場人物について想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ・文中における主語と述語の関係に注意することができる。(伝国(1)イ(カ)) ■物語を想像を広げながら楽しんで音読する。 ☆協力する姿勢を育てる題材(道徳)	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・「おむすびころりん」の学習を思い出す。 ・教師の後に続いて、全文を音読し、大体の内容を捉える。 ・P90-91を見て、自分でもやってみたいという意欲をもつ。 ・「くりかえしやリズムをたのしみながら、おんどくしよう」という学習課題を確認する。 2 お話の設定と展開を捉える。 ・登場人物と、増えていく順序を確かめる。 3 繰り返しの言葉や副詞に着目する。 3 グループで役を決めて音読の練習をする。 ・場面の様子を想像し、登場人物になりきってせりふや動作を考える。 4 音読の発表をする。 ・動作や音読のしかたについて、感想を交流する。 5 学習を振り返る。 ・繰り返しや文章のリズムを楽しみながら音読したことを確かめる。	【関】物語を読み、進んで音読を工夫しようとしている。 【読】 ・繰り返しの言葉やリズムを楽しんで音読している。 ・場面の様子や登場人物の動きを想像して、声の出し方を工夫したり動作を考えたりして音読している。 【言】誰が何をしたかを理解している。
7月	ほんは ともだち 2時間(読②) ◎自分の読みたい本を選んで読むことができる。(読(1)カ、伝国(1)ウ(ア)) ■選んだ本について、好きなところを紹介する。 ☆読書活動(図書館活用)	1 2	1 学校図書館に行く。 ・どんな本がどんなふう置いてあるのかを知る。 2 読みたい本を選んで読む。 ・学校図書館の本の借り方を知る。 ・おもしろいところや楽しく感じる場所を見つけながら読む。 3 読んだ本の気に入ったところをみんなに紹介する。 ・P94-95を参考に、本を見せたり、一部を読んだりする。	【関】進んで本を選んで読もうとしている。 【読】 ・自分の読みたい本を選んで読んでいる。 ・選んだ本のおもしろい点や楽しく感じる点を見つけている。 【言】本の中の平仮名を正しく読んでいる。
7月	こんな ことを したよ 6時間(書⑥) ◎知らせたい体験を決めて必要な事柄を思い出し、語と語、	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・最近楽しかったことを思い出して発表し合う。 2 「たのしかったことを ぶんしょうにかいて、こうりゅうしよう」という学習課題を設定する。	【関】自分の体験を思い出し、友達に伝えるための文章を書こうとしている。 【書】 ・体験を詳しく思い出して、書くことを

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>文と文とのつながりに気をつけて書き、交流することができる。(書(1)ア・ウ・オ)</p> <p>・長音、拗音などの表記や助詞を正しく使うことができる。(伝国(1)イ(エ))</p> <p>■体験を知らせる文章を書く。 ☆自分の体験を伝える。(生活科)</p>	3 4 5 6	<p>2 P96の作例を参考に書き方を確かめる。</p> <p>・文章に書く内容(「場所」「人物」「したこと」「思ったこと」など)を確認する。</p> <p>3 体験を知らせる文章を書く。</p> <p>・伝えたい体験について、詳しく思い出す。</p> <p>・体験したことを絵に描く。</p> <p>・「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どうした」が分かるようにする。</p> <p>4 書いたものを読み合い、感想を交流する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・自分の体験や気持ちを文章で表し、友達に伝えたことを確認する。</p>	<p>集めている。</p> <p>・体験とそのときに感じたことを三文程度で書き、書いたものを読み合っている。</p> <p>【言】長音、拗音などの表記や助詞「は・を・へ」を正しく文の中で用いている。</p>
9月	<p>いちねんせいの うた 2時間(読②)</p> <p>◎語のまとまりや言葉の響きなどを考えながら、工夫して音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)ウ(ア))</p>	1 2	<p>1 詩を声に出して読む。</p> <p>・リズムをとりながら元気に読む。</p> <p>・声の大きさ、速さ、読む人数などを変えて、どんなふうに読めばいいかを考える。</p> <p>2 詩を丁寧に視写して音読し、気づいたことを話し合う。</p> <p>3 工夫して音読する。</p> <p>・音声CDを聞き、「いちねんせいの うた」を歌う。</p>	<p>【関】詩に興味をもち、楽しんで読もうとしている。</p> <p>【読】内容や言葉の響きを考えながら工夫して音読している。</p> <p>【言】語のまとまりを捉えて平仮名を読んでいる。</p>
9月	<p>はなそう、きこう なつやすみの ことを はなそう 4時間(話・聞④)</p> <p>◎経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話すことができる。(話・聞(1)ア・イ, 伝国(1)イ(キ))</p> <p>○話の大事なことを落とさないように興味をもって聞くことができる。(話・聞(1)エ)</p> <p>■経験したことを報告したり、それらを聞いて感想を述べたりする。</p>	1 2 3 4	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・P101を見て夏休みの経験を話す際の具体的なイメージをもつ。</p> <p>・「ともだちにつたわるように、なつやすみのことをはなそう」という学習課題を確認する。</p> <p>2 P100の挿絵を参考に、夏休みの出来事を思い出し、題材を決める。</p> <p>・話すときに見せたい物や写真がある場合は、準備する。</p> <p>3 知らせたいことの内容を考える。</p> <p>・P101を参考に、内容や話し方、準備物を考えて練習する。</p> <p>4 聞くときのマナーについて話し合う。</p> <p>・質問をすると、より分かることに気づく。</p> <p>・音声CDを聞き、話し方や質問のしかたを知る。</p> <p>5 グループに分かれて夏休みの経験を発表する。</p> <p>・発表を聞く人は、質問をしたり感想を言ったりする。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・話したり聞いたりするときに気をつけたことを確かめながら、教師の話聞く。</p>	<p>【関】夏休みに経験したことをみんなに知らせることに興味をもって取り組もうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <p>・夏休みの出来事から題材を決めている。</p> <p>・友達に伝えるように、話す事柄を順序立てて丁寧な言葉で話している。</p> <p>・話し手の方を見ながら、興味をもって聞いている。</p> <p>【言】「です」「ます」を用いて丁寧な言葉で話している。</p>
9月	<p>ひらがな あつまれ 2時間(書②)</p> <p>◎平仮名を使って条件に合う言葉を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)ウ(ア))</p> <p>■平仮名を使って言葉遊びをする。</p>	1 2	<p>1 P102の表を見て、縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける。</p> <p>・見つけた言葉をノートに書き写し、発表する。</p> <p>2 P103を読んで、グループでしりとりや言葉集めを楽しむ。</p>	<p>【関】進んで言葉を探し、書こうとしている。</p> <p>【書】条件に合う言葉を書いている。</p> <p>【言】平仮名の大体を読んで書いている。</p>
9月	<p>おはなしを たのしもう ゆうやけ 8時間(読⑧)</p> <p>◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ, 伝国(1)ウ(ア))</p> <p>○文章の内容と自分の経験を結</p>	1	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・「夕焼け」という言葉から連想することや、想起する体験を出し合う。</p> <p>・「おはなしのすきなところを こえにだしてよもう」という学習課題を確認する。</p> <p>2 教師の範読や朗読CDを聞き、感想を発表する。</p>	<p>【関】物語を楽しみ、好きなところを話したり、想像したことをもとに工夫して読もうとしたりしている。</p> <p>【読】</p> <p>・好きな場面を選び、登場人物やその行動を捉えて想像を広げながら読んでい</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	び付け、自分の思いや考えを 発表することができる。(読 (1)オ) ・片仮名の語を正しく読み、書 くことができる。(伝国(1)イ (ア)) ■楽しんだり想像を広げたりし ながら、文章を読む。	2 3 5 6 7 8	3教材文を読み、内容を捉える。 ・題名と作者、登場人物を確認する。 ・登場人物の言動を押さえながら、話の展開を整理する。 ・いちばん好きな場面を選ぶ。 4好きな場面を音読する。 ・自分の体験と重ねたり、登場人物の気持ちを想像したりしながら、読み方を工夫する。 ・音読するときに、その場面を選んだ理由を話す。 ・音読を聞いた感想を伝え合う。 5きつねの子と自分の似ているところを発表する。 6学習を振り返る。 ・登場人物の気持ちを想像しながら、音読したことを確かめる。	る。 ・物語の内容と関連する体験を思い出し て自分の思いや考えを話している。 【言】 ・言葉によって体験が伝えられることに 気づいている。 ・片仮名を正しく読み、書いている。
9月	かたかなを みつけよう 2時間(書②) ◎片仮名の語を正しく読み、片 仮名で書く言葉を見つけて、 書くことができる。(伝国(1) ウ(ア)、書(1)ウ)	1 2	1片仮名を書く。 ・P112の唱歌を音読し、片仮名を見つけて、ノ ートに書く。 ・片仮名の長音と促音、拗音の書き方を確かめる。 2身の回りから片仮名で書く言葉を探す。 ・みんなで集めた言葉を、長音や促音、拗音に気 をつけながらノートに書く。	【関】身の回りにある片仮名を、進んで探そ うとしている。 【書】語としてのまとまりを意識して、片仮 名の語を書いている。 【言】教科書に提示された片仮名を正しく読 んだり書いたりしている。
9月	よんで たしかめよう うみの かくれんぼ 8時間(読⑧) ◎事柄の順序や文章構成上の順 序を考えながら読むことがで きる。(読(1)イ) ○文章の内容と自分の経験や知 識を結び付けて読むことがで きる。(読(1)オ) ○主語と述語の関係や、漢字の 読み方に注意して文章を読む ことができる。(伝国(1)イ (カ)・ウ(イ)) ■生き物の図鑑や科学読み物を 読む。 ☆生き物に興味をもつ題材(生 活科) ☆関連読書(図書館活用)	1 2 3 4 6 7 8	1学習の見直しをもつ。 ・「くちばし」が、「問い」と「答え」のある文章 だったことを思い出す。 ・生活科などで、生き物を見つけたときのことを 出し合う。 ・P114-115の写真を見た後で「みつけた いきもの を ともだちに わかりやすく おしえよう」 という学習課題を確認する。 2教材文を読む。 ・最初の「問い」で問われていることを確かめる。 ・3種類の海の生き物が出てくることを確かめる。 3生き物の隠れ場所と隠れる方法を確かめる。 ・1文目に海の生き物とその隠れ場所、2文目に 体の仕組みや機能、3文目に隠れる方法が書か れていることに気づく。 4内容や構成について気づいたことや感想を交流す る。 5図鑑や科学読み物を読み、他の生き物について調 べ、友達に知らせる。 ・興味のある生き物について、「1隠れる場所・2 体の仕組み・3隠れる方法」を見つける。 6学習を振り返る。 ・何が、どこに、どのようにして隠れているかを、 順序に気をつけて読んだことを確かめる。	【関】説明文を進んで読んだり、図鑑や科学 読み物で調べたりしようとしている。 【読】 ・問いかけがどんな事柄を取り上げている かを理解している。 ・事柄の順序に気をつけて読み、何が書 かれているかを捉えている。 ・自分の経験や知識と関わらせて、読み 取った内容を友達と話している。 【言】主語と述語の関係や、漢字の読み方に 注意して文章を読んでいる。
10月	かずと かんじ 4時間(書②、伝国②) ◎一から十までの漢字を読んだ り書いたりすることができる。 (伝国(1)ウ(イ)) ・数を表す漢字や、いろいろな 数え方を書くことができる。 (書(1)ウ)	1 2 3 4	1教科書の数え歌をリズムカルに楽しく読む。 ・数に合わせて、子ぶたの鳴き声を入れる。 2数を表す漢字を練習する。 ・読み方が複数あることを知る。 3身の回りにあるものを数えてノートに書く。 ・それぞれの数え方を友達と確かめ合う。 ・皿、りんご、鉛筆などの数え歌を作る。	【関】数え歌や数を漢字で書くことを楽しも うとしている。 【書】数を表す漢字には幾つかの読み方がある ことを理解して、数え歌を作り書い ている。 【言】一から十の漢数字を用いて数を表し、 ものによって適切な助数詞を使ってい る。

1年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
10月	こえに だして よもう			
	<p>くじらぐも 8時間（読⑧）</p> <p>◎場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。（読(1)ア）</p> <p>○登場人物の行動を中心に、好きなどころを見つけながら読むことができる。（読(1)ウ・エ）</p> <p>・かぎ（「 」）の使い方を理解することができる。（伝国(1)イ(オ)）</p> <p>■想像を広げながら、物語を声に出して読む。</p>	<p>1 1扉の詩を声に出して読み、目次を見て下巻の見通しをもつ。</p> <p>2 2学習の見通しをもつ。</p> <p>・「おおきな かぶ」で役を決めて音読したことを思い出す。</p> <p>・題名と挿絵から想像を広げ、お話に興味をもつ。</p> <p>・「やくにわかれて、おんどくをたのしもう」という学習課題を確認する。</p> <p>3 教材文を読み、あらすじを捉える。</p> <p>・挿絵を手がかりに想像を広げながら、教師の範読を聞き、あらすじを捉える。</p> <p>3 4音読を楽しむ。</p> <p>・教師に続いて読んだり、リレー読みをしたりする。</p> <p>・「いいな」「すきだな」と思ったところを伝え合う。</p> <p>・子どもとくじらぐもの会話文を想像し、どのように音読するか考える。</p> <p>・役になりきって音読の練習をし、動作を入れるなど工夫して音読する。</p> <p>6 5くじらぐもに乗って空を旅する子どもになって、雲の上での会話を想像し、吹き出しに書く。</p> <p>・会話文はかぎ（「 」）を使って書くことを学び、P16の文をノートに視写する。</p> <p>・想像した会話を付け加えて、音読を楽しむ。</p> <p>7 6音読を発表し合う。</p> <p>・好きな場面を選び、グループで役を決めて音読の練習をする。</p> <p>8 互いのよかったところや音読をして楽しかったことなど感想を交流する。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・役になって工夫した音読ができたかを確かめる。</p>	<p>【関】想像を広げながら、物語を楽しんで読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・会話文を工夫しながら、場面の様子がよく分かるように音読している。</p> <p>・場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら読んでいる。</p> <p>・お話の好きなどころを見つけて書いている。</p> <p>【言】会話はかぎ（「 」）を使って書くことを理解している。</p>	
10月	よく 見て かこう			
	<p>しらせたいな、見せたいな 10時間（書⑩）</p> <p>◎書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、語と語や文と文の続き方に気をつけて書くことができる。（書(1)ア・ウ）</p> <p>○書いた文章を読み返す習慣をつけ、間違いを直すことができる。（書(1)エ）</p> <p>・句読点を正しく使って文章を書くことができる。（伝国(1)イ(オ)）</p> <p>■観察したことを記録する文章を書く。</p> <p>☆動植物の観察記録文を書く。（生活科）</p>	<p>1 1学習の見通しをもつ。</p> <p>・P17を読み、「学校にいるいきものや、学校で見つけたものをよく見て、家の人に知らせる文しよを書こう」という学習課題を確認する。</p> <p>・教材文を読んで学習の流れを確かめ、知らせたいものを考える。</p> <p>2 2家の人に知らせたいものを決め、「しらせたいことカード」を書く。</p> <p>3 知らせたいものをよく見て、絵の周りに色や形、触った感じ、様子などを短い言葉で書く。</p> <p>4 3見つけた事柄を文章に書く。</p> <p>・P18のカードとP19の作例を比べ、見つけたことをどのように文章に表すのかを考える。</p> <p>7 短冊カードを用意するなどして、見つけた事柄を一つずつ文にする。</p> <p>・カードを並びかえながら、順序を考えるとよい。</p> <p>・考えた順序に沿って、文章を書く。</p> <p>8 4文章を読み返す。</p> <p>・P20を参考にして、句読点や文字が正しく書けているか確かめ、必要に応じて直す。</p> <p>9 5書いた文章をもとに交流する。</p> <p>・友達と読み合い、よかったところを伝え合う。</p> <p>10 家の人に読んでもらい、感想をもらう。</p>	<p>【関】知らせたいものについて、よく見て書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <p>・よく見て気づいたことを短い言葉で書き表している。</p> <p>・語と語や文と文の続き方に気をつけながら、つながりのある文や文章を書いている。</p> <p>・文章を読み返し、句読点や字の間違いなどを直している。</p> <p>【言】句読点を正しく使って書いている。</p>	

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
			<p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせたいものを詳しく説明する文章を書くことができたかを確かめる。 	
11月	<p>まちがいを なおそう</p> <p>2時間（書②）</p> <p>◎書いた文章を読み返したり、間違いを正しく直したりすることができる。（書(1)エ、伝国(1)イ(エ)）</p>	<p>1</p> <p>2</p>	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しらせたいな、見せたいな」の学習で、文章を読み返して間違いに気づいた経験や日常的に文章を読み返す習慣がついているかを振り返る。 <p>2 P21の文章例を読み、文字の間違いを直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と交換し、確認し合う。 ・出来事を知らせる簡単な文章を書き、読み返し、間違いがあれば直すなどの学習にも広げられる。 	<p>【関】 書いた文章を読んで間違いを見つけたり、正しく直したりしようとしている。</p> <p>【書】 書いた文章を読み返し、間違いを正しく直している。</p> <p>【言】 助詞「は・を・へ」などの使い方を正しく理解している。</p>
11月	<p>かん字の はなし</p> <p>6時間（書③、伝国③）</p> <p>◎第1学年に配当されている漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文を、続き方に注意して書くことができる。（伝国(1)イ(イ)・ウ(イ)、書(1)ウ）</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>1 教科書を読み、漢字の成り立ちを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P22-23の挿絵を見て、なんの絵がかいてあるかを確かめる。 ・P22-23を読み、絵と漢字を見比べて、漢字の成り立ちを学ぶ。 <p>2 教材文に出ている漢字の書き方を学び、練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P24-25の絵を言葉に直しながら、声に出して読む。 ・字形や書き順に気をつけて、新出漢字を一字ずつ丁寧に練習する。 <p>3 例文にある絵を漢字に直し、ノートに視写する。</p> <p>4 P24の例文のように、習った漢字を使って短文を作る。</p> <p>5 作った短文を友達と読み合い、交流する。</p>	<p>【関】 絵や印からできた漢字の成り立ちについて進んで知ろうとしている。</p> <p>【書】 語と語の続き方に注意して短文を書いている。</p> <p>【言】 漢字と表音文字の違いに気づくとともに、教材文に出てくる漢字を正しく読んだり書いたりしている。</p>
11月	<p>ことばを 見つけよう</p> <p>2時間（伝国②）</p> <p>◎文の中に隠れた言葉を補いながら言葉遊びの文を読んだり、意味を考えながら言葉遊びの文を作ったりすることができる。（伝国(1)イ(ア)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を組み合わせると意味のある言葉になることに気づくことができる。（伝国(1)ウ(ア)） 	<p>1</p> <p>2</p>	<p>1 教材で行う言葉遊びの仕組みを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かばんの なかには、かばが いる。」の意味を理解し、「<input type="text"/>がいる。」に入る言葉を考える。 ・「みかんの なかには、かんが ある。」の意味を理解し、「<input type="text"/>がある。」に入る言葉を考える。 ・「<input type="text"/>が」と「いる。」「ある。」が呼応していることを理解する。 ・「いる」と「ある」の使い方の違いを考える。 <p>2 <input type="text"/>に言葉を入れて、言葉の調子を楽しみながら全文を音読する。</p> <p>3 「<input type="text"/>がいる。」「<input type="text"/>がある。」という文を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作った文を交流し、「ことばあそび」を楽しむ。 	<p>【関】 言葉遊びの楽しさに気づき、進んで音読したり、作ったりしようとしている。</p> <p>【言】 文字を組み合わせると言葉ができることや、一文字違うだけで別の意味になることを理解している。</p>
11月	<p>くらべて よもう</p> <p>じどう車くらべ</p> <p>12時間（読⑥、書⑥）</p> <p>◎知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。（読(1)イ・エ・カ）</p> <p>○事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。（書(1)イ・ウ・オ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長音・拗音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書くことができる。（伝国(1)イ(エ)(オ)） ■事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。 	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>6</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな自動車やよく見る自動車について出し合い、その働きに関心をもつ。 ・P35「しごと」と「つくり」が書かれた「じどう車カード」の作例を見て、自動車図鑑にまとめることを確かめる。 ・『しごと』と『つくり』をくらべてよみ、じぶんの『じどう車カード』をつくらう」という学習課題を確認する。 <p>2 教材文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知ったことを出し合う。 ・説明のしかた（「問い」と「答え」の関係や三つの事例を挙げて説明していることなど）を捉える。 <p>3 三つの事例を比べ、説明の観点を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事例の「しごと」と「つくり」を書き、「そのために」でつながっていることを押さえる。 ・三つを比べ、自動車の「つくり」は、「しごと」 	<p>【関】 自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序を考えながら読み、内容の大体を理解している。 ・本や文章の中から、必要な言葉や文を書き抜いている。 ・知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。 <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」を使って文と文をつなぎ、自動車の仕事と作りを説明する文章を書いている。 ・書いた文章を、友達と読み合い、よいところについて感想を伝え合っている。 <p>【言】 長音・拗音・促音などの表記や、句読</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>■身近な事物を簡単に説明する文章を書く。</p> <p>☆関連読書（図書館活用）</p>	7 8 9 10 11 12	<p>の違いによることを知る。</p> <p>4 教材文の学びを生かし、はしご車の「しごと」と「つくり」を調べ、ノートにまとめる。</p> <p>5 「じどう車カード」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自動車の図鑑を読んできた中で、書きたい自動車を一つ選ぶ。 ・説明の観点に着目しながら「しごと」と「つくり」をノートに書く。 ・画用紙に自動車の絵を描いて、文章を清書する。 <p>6 カードを交換して読み合い、感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した「じどう車カード」をクラスで一つにまとめ、「じどう車ずかん」とすることもできる。 <p>7 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比べながら読むことで、自動車の「しごと」と「つくり」が分かったこと、自動車の働きを説明する文章を書けたことを確かめる。 	<p>点を適切に用いて書いている。</p>
12月	<p>かたかなを かこう</p> <p>2時間（書②）</p> <p>◎片仮名の語を正しく読んだり、片仮名で書く語を使った文を書いたりすることができる。（書(1)ウ、伝国(1)ウ(ア)）</p>	1 2	<p>1 身近なものの中で、片仮名で表記する語を出し合う。</p> <p>2 教科書にある片仮名で表記する語をノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片仮名の長音や拗音、促音の表し方を確認する。 <p>3 片仮名で表記する語を集め、短文を作る。</p> <p>4 作った短文を友達と交流する。</p>	<p>【関】身近なものの中に片仮名で表されているものがあることに気づき、進んで探そうとしている。</p> <p>【書】語と語の続き方に気をつけて書いている。</p> <p>【言】片仮名の長音や拗音、促音の表し方を理解し、正しく読んだり書いたりしている。</p>
12月	<p>まの いい りょうし</p> <p>1時間（読①）</p> <p>◎読み聞かせを聞きながら、昔話を楽しみ、感想を伝え合うことができる。（読(1)ウ、伝国(1)ア(ア)）</p> <p>■昔話の読み聞かせを聞く。</p> <p>☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもたせる題材（道徳）</p>	1	<p>1 教科書の挿絵を見ながら、教師の「まの いい りょうし」の読み聞かせを聞く。</p> <p>2 おもしろかったところについて、友達と感想を交流する。</p> <p>3 P128を見て、もう一度自分で読んだり、友達と読み合ったりする。</p>	<p>【関】昔話の読み聞かせを楽しんで聞いたり、自分から進んで読んだりしようとしている。</p> <p>【読】場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら読み聞かせを聞いている。</p> <p>【言】昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして親しみ、おもしろかったところを友達に話している。</p>
12月	<p>ほんは ともだち</p> <p>むかしばなしが いっぱい</p> <p>3時間（読①、伝国②）</p> <p>◎日本や外国の昔話を読んだり、読み聞かせを聞いたりし、お話の好きなところを紹介することができる。（読(1)オ・カ、伝国(1)ア(ア)）</p> <p>■読んだ昔話について、好きなところを紹介する。</p> <p>☆関連読書（図書館活用）</p>	1 2 3	<p>1 教科書の絵を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っているお話について発表する。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の昔話の中で、読みたいお話や読んでもらいたいお話に印をつける。 ・外国の昔話の中で、読みたいお話や読んでもらいたいお話に印をつける。 <p>2 印をつけたお話を図書館で探して読む。</p> <p>3 P45「おはなしノート」を見て、読書記録のつけ方を知り、読んだお話について記録する。</p> <p>4 おもしろかったお話を選び、好きなところを友達と紹介し合う。</p>	<p>【関】日本や外国の昔話を楽しみ、読みたい本を進んで自分で探して読もうとしている。</p> <p>【読】読みたい本を選んで読み、自分の経験や読書体験と結び付けて、感想を述べている。</p> <p>【言】昔話のおもしろさや語り口調、言い回しに親しんでいる。</p>
12月	<p>きいて しらせよう</p> <p>ともだちに、きいて みよう</p> <p>4時間（話・聞④）</p> <p>◎話す順序を考えながら、丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさずに聞いたりすることができる。（話・聞(1)イ・エ、伝国(1)イ(ア)）</p> <p>○友達に取材をして、紹介するために必要な事柄を集めることができる。（話・聞(1)ア）</p>	1 2 3	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、「ともだちに、いちばんのしいことをきいて、みんなにしらせよう」という学習課題を確認する。 <p>2 友達に質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声CDを聞いて、友達への尋ね方を学ぶ。 ・友達から聞いたことをノートにメモする。 <p>3 友達のことを紹介する練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声CDを聞いて、紹介のしかたを学ぶ。 ・聞いたことをもとに、話す順序を考える。 	<p>【関】紹介するために必要なことを進んで尋ねたり、それに答えたりしようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などを使って尋ね、大事なことを落とさないように、友達の答えをノートに書いている。 ・分かりやすいように話の順序を考えながら、丁寧な言葉遣いで話している。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	■尋ねて分かったことを紹介する。	4	4「みんなのたのしいこと」発表会を開く。 5学習を振り返る。 ・初めて知った驚いたことや、分かりやすい紹介のしかたについて、感想を交流する。	【言】聞いたことを伝えるときの話し方を理解している。
12月	日づけと よう日 3時間（書②，伝国①） ◎日づけや曜日の歌を楽しく唱えながら、語句の意味やまともに気づくことができる。（伝国(1)イ(ウ)） ○語と語の続き方に注意しながら、日づけや曜日の歌を書くことができる。（書(1)ウ）	1 2 3	1日づけ歌を楽しく唱える。 ・漢数字の読み方と日づけの読み方を見比べる。 ・日づけの読み方を理解してノートに視写する。 2曜日歌を楽しく唱える。 ・曜日の読み方を理解してノートに視写する。 3自分で歌を作る。 ・日づけ歌、曜日歌のどちらかを選び、正しく漢字を書いて歌を作る。 4作った歌を発表し合う。	【関】1年や1週間を表す言葉に親しみながら、日づけや曜日の歌を楽しんで作ろうとしている。 【書】語と語の続き方に注意しながら、自分の日づけ歌、曜日歌を作っている。 【言】日づけや曜日を表す言葉を、正しく読んだり書いたりしている。
12月	本は ともだち 本を えらんで よもう ずうっと、ずっと、大すきだよ 8時間（読④，書④） ◎読みたい本を選び、登場人物の行動を中心に想像を広げ、好きなどころを見つけながら読むことができる。（読(1)ウ・オ・カ） ・文と文の続き方に注意しながら、紹介したい本のカードを書いたり、書いたものを読んで感想を伝え合ったりすることができる。（書(1)ウ・オ，伝国(1)イ(ア)） ■本を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。 ■読んだ本について、好きなどころを紹介する文章を書く。 ☆生命を尊重する心を育てる題材（道徳） ☆読書活動（図書館活動）	1 2 3 4 5 7 8	1学習の見通しをもつ。 ・「としょかんでよみたい本をえらんでよみ、すきなところをしらせよう」という学習課題を確認する。 2学校図書館に行き、本の題名・作者・表紙などに着目して、読みたい本を選ぶ。 ・本を借りて、借りた本や理由を発表し合う。 3「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の読み聞かせを聞く。 ・「エルフ」と「ぼく」の関わりについて、エルフの様子の変化と「ぼく」の気持ちを捉える。 ・「やくす」、「やくしゃ」の示すことを知る。 ・好きなどころを見つけながら、教材文を読む。 ・教材文の心に残ったところを交流する。 4「おはなしの 森」を作る。 ・読んだ本の中から、友達に知らせたい1冊を選ぶ。 ・P62の作例を参考に、カードの書き方を知る。 ・選んだ1冊について、紹介するカードを書いて掲示し、「おはなしの 森」を作る。 5友達のカードを読んで、思ったことを感想カードに書いて掲示する。 6学習を振り返る。 ・図書館で読みたい本を探したり、紹介したりすることができたことを確かめる。	【関】本を紹介し合うことに興味をもち、読みたい本を進んで選ぶようとしている。 【読】 ・場面の様子や登場人物の行動について想像を広げ、好きなどころを見つけながら読んでいる。 ・題名・作者・表紙などの観点をもとに、読みたい本を選んで読んでいる。 【書】物語の好きなどころをカードに書き、友達のカードを読んで感想を伝え合っている。 【言】本を紹介するときに必要な言葉を理解している。
1月	てんとうむし 2時間（読②） ◎語のまともにごとに意味を考えながら、音読することができる。（読(1)ア，伝国(1)ウ(ア)） ■工夫して、詩の音読を楽しむ。	1 2	1「てんとうむし」の気持ちを想像しながら、詩を音読する。 ・題名や挿絵をもとに、詩の内容を想像する。 ・長音、促音をはっきり発音しながら、繰り返し音読する。 ・話しかけるように読んだり、動作化したりして、いろいろな読み方を楽しむ。 2音読を発表する。 ・二人一組で、どのように音読するかを考える。 ・発表を聞いて、よかったところを交流する。	【関】話しかけるように読んだり動作化をしたりして、読み方を工夫しようとしている。 【読】想像したことをもとに、声の出し方を工夫して音読している。 【言】語のまともを捉えながら、平仮名をすらすらと読んでいる。
1月	ものの 名まえ 6時間（話・聞②，伝国④） ◎意味による語句のまともや、上位語・下位語の関係に気づくことができる。（伝国(1)イ(ア)(ウ)） ○客と店の人になって売り買い	1 3	1学習の見通しをもつ。 ・買い物をしたときの経験を出し合い、店での言葉のやり取りに関心をもつ。 ・P70-71を見て、「がくしゅうを生かして、おみせやさんごっこをしよう」という学習課題を確認する。 2教材文を読み、物の名前に上位語と下位語がある	【関】物の名前や「おみせやさんごっこ」に興味をもち、進んで話したり聞いたりしようとしている。 【話・聞】お店でのやり取りに沿って、尋ねたり応答したりしている。 【言】上位語と下位語の関係を理解し、お店の看板には上位語に当たる言葉を、品

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	のやり取りをし、尋ねたり応答したりすることができる。 (話・聞(1)オ) ■尋ねたり、応答したりする。	4 5 6	ことを理解する。 ・身の回りの物の名前を集め、上位語と下位語に分けてノートにまとめる。 ・集めた言葉を発表し合う。 3「おみせやさんごっこ」の準備をする。 ・グループになり、開きたいお店について考える。 ・店で売る品物の、絵と名前をカードに書き、店の看板を作る。 ・教科書を参考にして、「お店の人」と「お客さん」の話し方を練習する。 4「おみせやさんごっこ」をする。 ・「お店の人」と「お客さん」の言葉のやり取りを楽しむ。 5学習を振り返る。 ・上位語と下位語の関係や、お店での尋ね方と答え方が分かったかを確かめる。	物には下位語に当たる言葉を書いている。
1月	かたかなの かたち 3時間(書③) ◎平仮名と片仮名を関係づけ、形の似た仮名に注意して書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)ウ(ア))	1 2 3	1形の似ている片仮名と平仮名や、片仮名と片仮名を区別して書く。 ・一字ずつ形を確認しながらノートに書く。 ・P134「かたかなと ひらがな」を見て、形の似ている字を探す。 2P73の単語を視写する。 ・間違えやすい片仮名や、長音、拗音などの形に気をつける。 3身の回りにある物の中から片仮名の言葉で書く言葉を集める。 ・P73の単語や、見つけた片仮名の言葉を使って、文を書く。 4書いた文を発表し合う。	【関】形の似ている片仮名や平仮名に興味をもち、身の回りから進んで片仮名を見つけようとしている。 【書】片仮名で書く言葉を使って、文を書いている。 【言】字形に注意して、片仮名を正しく書いている。
1月	てがみを かこう てがみで しらせよう 6時間(書⑥) ◎経験したことから書く題材を決め、文と文の続き方に注意して書くことができる。(書(1)ア・ウ) ・句読点の打ち方や主語と述語の関係に注意し、敬体を使って書くことができる。(伝国(1)イ(オ)(カ)(キ)) ■簡単な手紙を書く。 ☆お世話になった人に手紙を書く。(生活科)	1 2 3 5 6	1学習の見通しをもつ。 ・手紙を書いたり、もらったりした経験を出し合う。 2誰に、どんなことを知らせるのか考える。 ・相手と書く題材を決め、必要な事柄を集める。 3P74・75の作例を参考に、手紙の書き方を知る。 4手紙を書く。 ・手紙の内容に合う絵を描いてもよい。 ・手紙を出したり、渡したりする。 5学習を振り返る。 ・手紙を書いた感想を交流する。 ・手紙の書き方に沿って、自分の気持ちを書くことができたかを確かめる。	【関】手紙の書き方を理解し、進んで書こうとしている。 【書】 ・伝えたい相手に応じて、経験したことから、嬉しかったことや楽しかったことを思い出し、必要な事柄を集めている。 ・文と文の続き方に注意して、簡単な手紙を書いている。 【言】句読点の打ち方や、主語と述語の関係に注意して、敬体を使って書いている。
1月 2月	おはなしを たのしもう たぬきの 糸車 8時間(読⑧) ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、お話を楽しみながら読むことができる。(読(1)ウ) ○語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。(読(1)ア)	1 2 3 6	1学習の見通しをもつ。 ・音読の工夫を振り返り、「むかしばなしをこえにだしてたのしもう」という学習課題を確かめる。 2教材文を読み、感想を発表し合う。 ・教師の範読を聞いたり、音読したり、自分で読んだりする。 3挿絵と文を対応させながら読む。 ・「たぬきがしたこと」を確かめる。 ・「おかみさんが思ったこと」を考える。	【関】登場人物の行動を考えながら、昔話を楽しんで読もうとしている。 【読】 ・想像したことをもとに、語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読している。 ・場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら読んでいる。 【言】誰が、何をしたのかを的確に読み取

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>・主語と述語の関係に気をつけて読むことができる。(伝国(1)イ(カ))</p> <p>■楽しんで想像を広げたりしながら昔話を読む。</p> <p>☆我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を育む題材(道徳)</p>	7 8	<p>・お話の感想や登場人物に言ってあげたいことを話し合う。</p> <p>4好きな場面を選び、音読の発表をする。</p> <p>・読み方を工夫したり、動作化したりして音読の練習をする。</p> <p>・みんなの前で、選んだ場面を音読する。</p> <p>5学習を振り返る。</p> <p>・登場人物の行動を想像したり、動作化したりして楽しく読めたことを確かめる。</p>	ている。
2月	<p>ことばを たのしもう</p> <p>2時間(伝国②)</p> <p>◎音節と文字の関係や、単語とそれを構成する文字の関係に気づくことができる。(伝国(1)イ(イ))</p>	1 2	<p>1濁音や半濁音、撥音の入った詩のおもしろさを味わいながら声に出して読む。</p> <p>2教科書にある早口言葉を調子よく、はっきりと唱える。</p> <p>3他にも詩や早口言葉を探し、読み方を工夫して音読を楽しむ。</p> <p>4他にも早口言葉を探し、「早口言葉大会」を開いて楽しむ。</p>	<p>【関】言葉遊びを楽しんだり、早口言葉に進んで挑戦しようとしていたりしている。</p> <p>【言】言葉遊びや早口言葉を通して、拗音を除けば、原則として1文字が1音節(拍)に対応することに気づいている。</p>
2月	<p>ふたりで かんがえよう</p> <p>これは、なんででしょう</p> <p>4時間(話・関④)</p> <p>◎話題に沿って話し合い、分からないことを尋ねたり、それに答えたりすることができる。(話・関(1)オ、伝国(1)イ(ウ))</p> <p>○身近なものの中から問題にするものを決め、必要な事柄を集めることができる。(話・関(1)ア)</p> <p>■事物の説明をする。</p> <p>■尋ねたり応答したり、二人で話し合っって考えを一つにまとめたりする。</p>	1 2 3 4	<p>1学習の見通しをもつ。</p> <p>・教師からの問題を聞いたり、教材文を読んだりして、クイズの大まかなルールを把握する。</p> <p>・「ふたりで、もんだいをかんがえて、クイズ大かいをしよう」という学習課題を確認する。</p> <p>2二人組をつくり、クイズの問題を考える。</p> <p>・問題にするものを決める。</p> <p>3決めたものの特徴(色や形、はたらき、様子など)をノートに書き出す。</p> <p>3問題の出し方を話し合う。</p> <p>・音声CDを聞いて問題の出し方を確かめ、話し合いのしかたを学ぶ。</p> <p>・書き出したことをどのような順番で言うのかを決め、練習する。</p> <p>4「これは、なんででしょう」クイズ大会をする。</p> <p>・問題の出し方について、感想を交流する。</p> <p>5学習を振り返る。</p> <p>・二人で考えを出し合っって、一つにまとめるときにどのようなことが大切かを確かめる。</p>	<p>【関】問題作りを楽しみ、進んで話し合おうとしている。</p> <p>【話・関】</p> <p>・身近なものの中から題材を決め、事物の特徴を集めている。</p> <p>・互いの考えを終わるまで聞き、話題に沿って話し合っている。</p> <p>・問題を聞いて分からないところを質問したり、適切に答えたりしている。</p> <p>【言】物の特徴を表す語句を理解している。</p>
2月	<p>ちがいを かんがえて よもう</p> <p>どうぶつの 赤ちゃん</p> <p>10時間(読⑩)</p> <p>◎時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。(読(1)イ・エ)</p> <p>・主語と述語の関係に注意して、敬体で書かれた説明を理解することができる。(伝国(1)イ(カ)(キ))</p> <p>■説明的な文章を、違いを比べながら読む。</p> <p>☆科学的、論理的な見方や考え方を育てる題材(生活科)</p> <p>☆生命を尊重する心を育てる題材(道徳)</p> <p>☆関連読書(図書館活用)</p>	1 2 3 6	<p>1学習の見通しをもつ。</p> <p>・動物の赤ちゃんについて知っていることなどを出し合い、動物の赤ちゃんへの興味・関心をもつ。</p> <p>・「どうぶつの赤ちゃんについて、かかれていることをくらべながらよもう」という学習課題を確認する。</p> <p>2教師の範読を聞く。</p> <p>・初めて知ったことや不思議に思ったことを話し合う。</p> <p>3ライオンとしままの赤ちゃんの様子や成長を比べながら読み取る。</p> <p>・「生まれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」をまとめる。</p> <p>・お母さんとの違いや、成長過程での親子のつながりについて確認する。</p> <p>・どのような違いがあるのか、気づいたことを発表する。</p>	<p>【関】動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・ライオンとしままを比べ、その違いについてまとめている。</p> <p>・目的に応じて、大事な言葉や文を書き抜いている。</p> <p>【言】</p> <p>・主語と述語の関係に注意し、ライオンとしままの様子を読み取っている。</p> <p>・敬体で書かれた説明を理解している。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
		7 8 9 10	4 P100「カンガルーの赤ちゃん」を読み、ライオンやしまうまと比べる。 5 他の動物の赤ちゃんについて調べる。 ・P99の図書を参考に、他の動物の赤ちゃんについて書かれた本や文章を読み、成長の様子など、分かったことと感想をまとめる。 6 学習を振り返る。 ・他の動物の赤ちゃんについて調べて分かったこと、感想を交流する。 ・比べながら読むことで、違いがよく分かったことを確かめる。	
2月 3月	にて いる かん字 3時間（伝国③） ◎形の似ている漢字の形や筆順に注意して、第1学年に配当されている漢字を正しく読み取り書いたりすることができる。（伝国(1)ウ(イ)）	1 2 3	1 似ている漢字に気をつけて書く。 ・P102の漢字を見比べ、どこが似ているかを出し合う。 ・似ているところと異なるところを確かめながら、1文ずつノートに書く。 2 漢字の筆順に気をつけて書く。 ・P103の漢字を、筆順を確かめながら、ノートに書く。 ・作った文を発表し合う。 3 教科書にある漢字を使って文を作る。 ・P138なども参考に他にも形の似ている漢字や筆順を間違えやすい漢字を探し、文を作ってもよい。	【関】形の似ている漢字や筆順を間違えやすい漢字を進んで見つけ、文の中で使おうとしている。 【言】似ている漢字を区別し、筆順に気をつけて、文の中で正しく書いている。
3月	すきな ところを さがして よもう だって だつての おばあさん 8時間（読⑧） ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、好きなところを見つけながら楽しく読むことができる。（読(1)ウ） ○お話の中で、好きな言葉や文を書き抜くことができる。（読(1)エ、伝国(1)イ(ア)） ■お話の好きなところを見つけ、紹介し合う。 ☆生活を明るくする態度を育てる題材（道徳）	1 2 3 6 7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・これまでに読んだ作品の中で、どのお話が好きだったかを理由とともに出し合う。 ・「おはなしをよんで、すきなところをつたえよう」という学習課題を確認する。 ・教師が用意したP123のような好きなところを示した紹介カードを見て、自分たちもカードを書くことを確認する。 2 教材文の範読を聞く。 ・心に残ったところを話し合う。 ・登場人物を確かめる。 3 好きなところを見つけながら、教材文を読む。 ・P122の表を参考に、三つの場面に分けて、「おばあさん」の行動を整理する。 ・表や、誕生日の前後の「おばあさん」と「ねこ」の会話を比べ、「おばあさん」の変化に気づく。 ・好きなところとその理由をノートにまとめる。 4 紹介カードを作る。 ・お話の好きな場面やおばあさんの好きなところを理由とともに書く。 ・裏に、選んだ部分を表す絵を描いてもよい。 5 紹介カードをもとに交流する。 ・グループやクラスで好きなところを紹介し、感想を述べ合う。 ・自分と友達では、選んだところや理由が異なっていることに気づく。 6 学習を振り返る。 ・お話や登場人物の好きなところを見つけて、紹介することができたかを確かめる。	【関】場面の様子や登場人物などの好きなところを見つけながら、お話を進んで読もうとしている。 【読】 ・登場人物の行動を中心に、好きなところを見つけながら読んでいる。 ・好きな場面や登場人物の好きなところを書き抜いている。 【言】理由を表す言葉を理解して使っている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
3月	おもい出して かこう			
	<p>いい こと いっぱい、一年生 12時間（書⑫）</p> <p>◎経験したことから書く題材を決めて必要な事柄を集め、順序を考えながら、文と文の続き方に注意して書くことができる。（書(1)ア・イ・ウ）</p> <p>・書いた文章を読み返して間違いなどを正したり、感想を伝え合ったりすることができる。（書(1)エ・オ）</p> <p>・句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、文の中で正しく使うことができる。（伝国(1)イ(オ)）</p> <p>■経験したことを報告する文章を書く。</p> <p>☆生活を明るくする態度を育てる（道徳）</p> <p>☆P140「ひょうしょうじょう」</p>	<p>1 1学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やアルバムを見ながら、1年間を振り返り、心に残っていることを話し合う。 ・教材文を読み、学習の手順を知る。 ・「1年生の『おもいで』のアルバムをつくらう」という学習課題を確認する。 <p>2 21年間の出来事を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P125を参考に、「がんばったこと」「できるようになったこと」などの観点から思い出す。 ・写真を見たり、家の人に聞いたりする。 <p>4 3アルバムに載せたい事柄を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を見ながら、書きたいことをメモする。 <p>5 4「思い出カード」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P126の作例を読み、書き方を考える。 ・メモを友達と交流し、付け加える点を見直す。 ・順番を考えながら、文章を書く。 ・様子を表す絵を描いたり、写真を貼ったりする。 <p>10 5句読点や文字の間違いを見直す。</p> <p>11 6カードをもとに、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のカードを読んだ感想や、よかったところを伝え合う。 ・家の人にも読んでもらい、感想をもらう。 <p>12 7「思い出カード」をまとめ、アルバムを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間順に並べるなど、構成を工夫する。 <p>8学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の思い出を詳しく取材し、分かりやすく書くことができたかを確認する。 <p>9年間の学習を振り返って、がんばったことを思い出し、P140の表彰状に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の初めに書いた字と比べ、自分の成長を確認する。 	<p>【関】1年間の思い出を思い浮かべ、必要な材料を集めて書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真をもとに、思い出した出来事や、それにまつわる事柄を書き出している。 ・知らせたいことが明確になるよう、「いつ、何をした、どうだった」など書く順序を考えている。 ・語と語や文と文の続き方に注意して、分かりやすく書いている。 ・文章を読み直して、間違いなどを正している。 ・書いたものを読み合い、よいと思うことを伝えている。 <p>【言】句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、正しく書いている。</p>	